鞍ヶ池公園

鞍ヶ池公園は豊田市にある広大な公園で、家族で楽しめるさまざまなアウトドアアクティビティが用意されている。一帯を一望できるため、街の散策を始めるには理想的な場所だ。

公園を見下ろす位置にある鞍ヶ池パーキングエリアは、東海環状自動車道の脇にある高速道路の休憩所である。パーキングエリアの車椅子でも登れる展望台からは、周辺の 2 つの高い山、豊田の猿投山と松平地区の六所山が見える。また、豊田スタジアムも見ることができ、晴れた日には名古屋方面まで見渡すことができる。展望台は、星空観察や夜の花火鑑賞にも最適だ。

園内にはレストランや、アウトドアウェアブランド「スノーピーク」のショップがある。さらに坂を下った公園の中心部には、東京の国立競技場やフランスの文化センター「FRAC マルセイユ」などを手がけた建築家、隈研吾（1954 年生まれ）が設計した 5 棟の長方形の移動式バンガローがある。隈氏がスノーピークとのコラボレーションで制作したこの「住箱」（”住む箱”）は、公園内での贅沢なキャンプのためにレンタルされている。また、近くには通常のキャンプ場もあり、スノーピークのショップでテントやキャンプ用品をレンタルすることもできる。

この公園の名前の由来である鞍ヶ池は公園のほぼ中央に位置し、鯉や水鳥が生息し、パドルボートなどもある。他にも、無料の動物園や、名古屋鉄道（通称：名鉄）の古い電車が復元されて公園内に設置されている。また、子供用のプレイエリアや植物園もある。公園のすぐそばには、トヨタ自動車の創業期の歴史を紹介する博物館「トヨタ鞍ヶ池記念館」がある。この公園はピクニックに最適なスポットで、春には桜が満開になり、特に多くの人が訪れる。

高速道路の名古屋方面からは車で、豊田市駅からはバスで公園に行くことができる。